

平成 28 年度「ふるさとやまぐち生活体験活動推進事業」実施報告書

美祿市立城原小学校 第 3～6 学年 (15 名)

平成 28 年 9 月 7 日～9 月 9 日 実施

1 活動のねらい

- ① 日頃の学校生活では経験できない自然や人とふれあう体験活動を行うことを通し、豊かな感性を育むとともに、ふるさとの良さに気付く。
- ② 自分の役割や立場を考え、自分の良さを生かしながら異学年や友達と協力して活動をする態度を育てる。
- ③ 公共の場での適切な態度や行動のとり方を考え、実践する態度を育む。

2 全体の指導計画 【主な活動地域名：長門市油谷地区、山口県油谷青少年自然の家】

	期 間	活動の内容	時数
事前指導	9月2日 9月6、7日	○班編制、係、役割の確認 ○日程、活動の確認	3
実施	9月7日～ 9月9日	○入所式、退所式 ○民泊先の方との交流会（対面式、お別れ式） ○海浜活動（シーカヤック、浜遊び、釣り） ○手旗信号 ○振り返り活動（反省記入、民泊先へのお礼の手紙作成） ○清掃活動（施設清掃、海岸清掃） ○退所式	17
事後指導	9月12日～ 9月14日	○油谷青少年自然の家への手紙 ○作文、日記	3

3 活動の展開

9月7日（水）		9月8日（木）		9月9日（金）	
8:00	通常通り登校後、1校時の授業（事前指導）	8:30	民泊先から戻り、交流会（お別れ式）	6:30	起床
9:30	学校出発	9:30	シーカヤック体験	7:15	朝のつどい
11:00	入所式、オリエンテーション	12:00	昼食 海浜活動（シーカヤック、浜遊び、釣り）	7:30	朝食
12:00	昼食			8:00	施設清掃活動
13:15	吹奏楽鑑賞	16:00	手旗信号	9:30	シーカヤック体験
14:30	海岸清掃	17:00	夕べのつどい	12:00	昼食
16:30	民泊先の方との交流会（対面式）	17:30	夕食、入浴	13:00	退所式
17:30	交流会後、民泊先各家庭へ移動	18:00	活動の振り返り（反省、お礼の手紙）	13:30	自然の家出発
		21:00	就寝	14:30	学校着

4 実施上の留意点

- 学校教育目標「かしこく」「なかよく」「たくましく」を具体的に学ぶために、コミュニケーション・思いやり・感謝・協力・忍耐・奉仕を児童への声掛けのキーワードにして、心の教育の場とした。
- 生徒指導年間共通目標の「時を守り、場を清め、礼を正す」の徹底を図るため、時間厳守・片付け・あいさつを活動ごとに振り返るよう指導した。
- 日程にゆとりをもたせて計画することで、児童が次の活動のために5分前集合や片付けを達成でき、褒められることで意欲の向上が図られるよう配慮した。
- 活動の振り返りやお礼の手紙作成のための時間を確保し、児童の記憶が新しいうちに振り返り、次の活動に生かされるように計画した。



【民泊先での様子】

5 活動の成果と課題

(1) 成果と課題

- 縦割り班活動でのコミュニケーションが増えた。
- 全校児童の集合態度に向上が見られるようになった。
- 民泊先では、子どもらしく素直なあいさつができていたと評価をいただいた。
- しおりに活動ごとの振り返りを記録するページを設けることで児童が自分の行動を振り返ることができた。また、教師がそれを評価し、称賛や励ましを行うことで教育活動が充実した。
- お礼の手紙では、自分の思いをうまく文章に表せなかった児童がある程度まとまった文章にすることができた。
- 事前アンケートでは、「きちんと聞く」「先を見通す」「自分から進んで」「相手の気持ちを考えて」の評価が低い児童が多かった。



【シーカヤック体験】

しかし、実施後は、「人の話をきちんと聞くことができる」、「相手の気持ちを考えて行動することができる」の項目の肯定的な評価が高くなる傾向となった。「集合する→説明を聞く→協力して活動する」という活動のサイクルを多く体験することで意識が高まり、自らの成長を実感することにつながったのではないかと考える。

- 次の活動を意識して準備に取り掛かることができる児童は、まだ少なく、3・4年生については、5・6年生に頼ってしまう場面も見られた。

5・6年生については、自分が班長として下学年をリードしようとする意識がまだ十分ではなく、教師がリーダー性を育てると同時に、下学年児童たちが上学年が下学年をリードすることの価値を感じ取っていくことが課題となっている。



【釣り体験】

(2) 今後の改善点

- 民泊先で体験した内容に違いがあった。民泊先で全員が何らかの体験的な活動が行えるように事前に確認、依頼ができるようにしておく。
- 自然体験活動は、天候に左右されることが多い。天候による活動の変更があった場合にも、価値ある教育活動になるように事前に計画をする。
- 個に応じた目標の設定により、具体的な指導場面の明確化と指導の充実を図る。